

12. 教育委員会報告

9.27 教育委員会

9月27日 11:00 - 11:30, 2:40 - 3:30

1. 新委員の紹介

2. 報告事項：以下の3点が報告された。

八ヶ岳フレッシュマンセミナーの報告：

齋藤秀司氏よりフレッシュマンセミナーの現状について報告と若干の質疑応答があり、これからも重要な教育委員会の仕事として位置づけていくことを確認した。詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://www.kusm.kyoto-u.ac.jp/~mugen/yatsu.html>

講演会派遣講師のアンケートについて：

70名弱の回答があった。それをデータ化する作業に入っていること。

毎日新聞への公開質問状と鳴門教育大への依頼（「論文入試の出題意図・採点基準」を明らかにしていただきたい）の件：別紙（60 - 61 ページ）のような回答があった。これは協議事項も参照。

当日行われたシンポジウム：200名の方の参加で成功裏に終わった。詳しい報告は、次号の『数学通信』に掲載の予定。

3. 協議事項：

毎日新聞への公開質問状の回答と鳴門教育大への依頼の回答の取り扱い。

全体に公開し、教育委員だけでなく数学会会員の個人としての意見を出していただくこととした。

出版賞について

教育委員会として『出版関係の賞を作っては』との意見を理事会に提出してありました。理事会から教育委員会にこの件について、具体的な提案をしてほしいと要請がありました。

議論の結果、編集者・出版社を含むような賞で、数学を普及するために尽力なさっている方をエンカレッジするような賞にする。むしろ賞を広く出せば、商売と絡むという感じもなくなるのではないかとということで意見が一致した。詳しい細部については上野健爾氏につめてもらうことにした。

理数系学会教育問題連絡会 12月の公

開シンポジウムへの関与について

数学会に対し、理数系学会教育問題連絡会の世話人の浪川幸彦氏より、12月に行われる公開シンポジウムに財政援助(3万程度)してほしいとの要望が来た。これについて、教育委員会としての意見を求められたが、教育委員会としては、「異議がない」と返事をすることを確認した。

(教育委員会委員長 岡部恒治記)